

科目名 (英)	オリエンテーション・導入教育	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	菊地慶 今井香菜子 宮崎登志枝 吉田映梨子 及川美波 本間静香
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
学年全体の学習イメージをつけることができる							
【授業を通じての到達目標】							
年間のスケジュールが理解できる 授業概要が理解できる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
プリント配布							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	<b>【授業単元】</b> スケジュール・ルール確認・職員紹介・講師紹介  <b>【到達目標】</b> 年間のスケジュールが理解できるようになる  学則・内規等のルールを理解し、遵守の意識を持つ  学科職員や学校組織の構成を知る  学校の校舎や教室の使い方を理解する			9	<b>【授業単元】</b> 時間割・授業概要理解 就職活動について 教材理解 教科書理解  <b>【到達目標】</b> 年間の授業概要を理解し、これからの学びのイメージをもつ  就職活動についての具体的な自分のスケジュールを立てることができる  自身が今後使用するヘアやメイクの教材について把握し、使用方法が理解できる  奨学金制度などの学費サポート制度についても概要が理解できるようになる  <b>【評価】</b> 出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施		
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
【特記事項】				<b>【評価について】</b> ●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施  ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)  ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	相互支援演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井・菊地・吉田・及川・本間
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
クラスの相互支援関係を構築する							
【授業を通じての到達目標】							
・クラスメイトと自然とコミュニケーションが図れるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授業概要			回	授業概要		
1	1~4回 【授業単元】 コミュニケーション技法① 【到達目標】 ・グループワークの方法を学ぶ			9			
2	・コミュニケーションゲームを通して相互理解を深める ・自己紹介を通して自己開示を進める			10			
3				11			
4				12			
5	5~8回 【授業単元】 コミュニケーション技法② 【到達目標】 ・ヘアメイクの調べ学習と発表を通じて、プレゼンテーション力を上げる			13			
6	・異質なものを認めることができる ・自分自身を理解することができる			14			
7				15			
8							
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	相互支援演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井・菊地・吉田・及川・本間
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
クラスの相互支援関係を構築する							
【授業を通じての到達目標】							
・クラス替えをしたクラスメイトを理解することができる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授業概要			回	授業概要		
1	1~4回 【授業単元】 相互理解プログラム 【到達目標】 ・新たなクラスメイトの顔と名前を覚える			9			
2	・コミュニケーションゲームを通して相互理解を深める ・自己紹介を通して自己開示を進める			10			
3				11			
4				12			
5	5~8回 【授業単元】 サービスマインドを学ぶ 【到達目標】 ・外部研修において、サービスマインドを学び			13			
6	・異質なものを認めることができる ・テーマパーク内にて、グループで相互理解を進めることができる			14			
7				15			
8							
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道 (Careers Seminar)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	菊地慶 今井香菜子 宮崎登志枝 吉田映梨子 及川美波 本間静香
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	木2限・3限 金2限・3限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
現場実習に行く為のヘアメイクに関する技術や知識を身につけ、対応できるようになる ヘアメイクアーティストに必要な色彩やファッション、テイストを知り、感性やセンスを磨くことが出来る 主たる講師:美容室で美容師として従事後、本校に入職。美容師科通信課程担当・ヘアメイク科担任を勤める(今井)							
【授業を通じての到達目標】							
美容のプロになるために必要な業界知識や流れを理解し、ヘアメイクの分野に合わせたビジョンを組み立てることが出来る 目指すヘアメイク分野の業界を知り、方向性を見出すことが出来る							
【使用教科書・教材・参考書】□				【授業外における学習】			
資料・教材は毎授業時で配布				授業によって自宅課題あり			
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 美容のノウハウを日9上に必要な知識・マナーを学ぶ 教務部長挨拶 【到達目標】 導入研修や入学式を振り返ることで目標の再確認が出来る 目標に向けてカリキュラムの必要性を明確化 理解することが出来る			9	【授業単元】 ヘアメイク研究② 業界講話振り返り 【到達目標】 ヘアメイク研究①で作成したシートを共有し、よりヘアメイクのテイストを知ることが出来る 振り返りから、ヘアメイクに向けて意欲を高めることが出来る		
2	【授業単元】 ヘアメイクの仕事を知る 【到達目標】 ヘアメイクになるための流れを理解し、方法を学ぶ ヘアメイク業種や分野を調べ、理解する ファッションとの関連性を知ることが出来る			10	【授業単元】 将来のビジョンを組み立てる 【到達目標】 将来の夢に向けて自分に足りないこと見出し、今後のビジョンを組み立てることが出来る 実現シートを作成し、目標に向けて今やれることを明確化出来る		
3	【授業単元】 ヘアメイクの業界を知る 【到達目標】 ヘアメイク事務所の調べ方を学び、業界の知識を深めることが出来る 所属しているアーティストの仕事内容、 代表作品、担当ヘアメイクを知り、理解することが出来る			11	【授業単元】 スチール撮影の流れ・必要性を学ぶ 【到達目標】 スチール現場実習時のカメラ前アシスタントの動きや流れを理解出来る 就職活動時に必要な自己表現するブック作成に必要なスチール撮影の流れを把握し、発信力の 土壌を理解することが出来る		
4	【授業単元】 業界講話振り返り 【到達目標】 振り返りから、授業や現場実習の大切さを理解し、ヘアメイクに向けて意欲を高めることが出来る 現場実習への準備が出来るようになる			12	【授業単元】 夏休み中の過ごし方を考える 【到達目標】 学校のルールや夏休みの行動について再確認し、楽しく過ごせる計画を立てることが出来る 夏休み課題を理解することが出来る		
5	【授業単元】 職業理解を深める 【到達目標】 コース選択に伴い、職業の区別をつけることが出来る 目指すヘアメイクについて学び、職種ごとの業界内容、技術内容を理解することが出来る			13	【授業単元】 夏休み課題の振り返り 体験学習の目的 【到達目標】 夏休み課題をグループで共有し、発表する力を身につけることが出来る 職種への不安を解消し、職業理解を深める ために体験学習の意図を理解し、主体的に授業に臨むことが出来る		
6	【授業単元】 現場実習の必要性を学ぶ 【到達目標】 現場実習の流れやルールを理解し、実習に必要な社会的マナー・主体性・コミュニケーション力を身につけることが出来る 現場実習を通じて将来像に近づくスキルアップということを理解する			14	【授業単元】 体験学習の流れを知る 後期に向けて個人目標設定 【到達目標】 スムーズに体験学習に臨む姿勢をつくることが出来る 後期に向けて早期体制を整え、目標や目指す業種に対して自信とやる気を持つことが出来る		
7	【授業単元】 中間テスト ヘアメイク業種・仕事内容・分野・働き方の振り返り 【到達目標】 中間テストを通じて、今まで学んだ知識を確認することが出来る 目標の振り返り、明確化をし、ステップアップすることが出来る			15	【授業単元】 定期試験 体験学習の振り返り 教務部長挨拶 【到達目標】 振り返りから、不安要素を解決し、志望するヘアメイク業種・分野を絞ることが出来る 定期試験を通じて、半年間を振り返り、自身の成長を認めることが出来る		
8	【授業単元】 ヘアメイク研究① 【到達目標】 自分の好きなヘアメイクのテイストを調べ、自己表現できる世界観を探すことが出来る テイストを共有し、自己アピールできるシートを完成することが出来る			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅱ (Careers SeminarⅡ)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	菊地 今井 及川 本間
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ヘアメイク科 ヘアメイクコース					曜日・時間	金2限・3限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
就職講座授業と連動し、ヘアメイクの業種・分野を理解し、自身の将来像を明確にすることができる 就職活動における基盤を作り、スムーズに実践できるようになる							
【授業を通じての到達目標】							
自己分析することができ、就職活動における基本的な履歴書作成ができるようになる 志望する業種・分野をしばることができ、インターンや現場実習に積極的に参加することができる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
資料・教材は毎授業時で配布				授業によって自宅課題あり			
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 契約原理(養成目的、教育目標、学則・細則)を理解し、自己変革期に向けスタートをきる 【到達目標】 前期を振り返り、後期の目標設定ができる クラスメイトを知り、コミュニケーションをとる事ができる			9	【授業単元】 履歴書に記入する自己PRを3パターン作成できる 【到達目標】 職種や分野によってアピールポイントの違いを理解し、自分の強みを伝えることができる		
2	【授業単元】 ディズニー研修の目的を理解する 【到達目標】 研修の目的を理解しサービスマインドの理解を深める クラスの仲間とディズニーランドで同じ時間を過ごし相互支援関係を形成することができる			10	【授業単元】 志望動機の書き方を身に付ける 【到達目標】 志望動機の収集をすることができる 志望動機の目的、構成、「伝わる」志望動機の書き方を理解することができる		
3	【授業単元】 ディズニー研修の振り返り 【到達目標】 振り返りから、おもてなしやマナー、礼儀、コミュニケーションの重要さを理解し、人間力を高めることができる 就職活動への準備ができるようになる			11	【授業単元】 コンテストの目的や流れ、必要性を学ぶ 【到達目標】 コンテストのテーマや目的、流れを理解できる 自己表現力や発信力の大切さを理解することができる		
4	【授業単元】 履歴書の書き方【学歴・職歴・賞罰・資格】を知る 【到達目標】 就職活動で履歴書を作成できるように基本的な記入の仕方が理解できる			12	【授業単元】 コンテストの準備ができる 【到達目標】 コンテストテーマや創作したい作品をイメージし、ウィッグにカラーリングをすることができる		
5	【授業単元】 基本的な文章が作成できる 【到達目標】 文章作成の基礎を身に付けることができる 「伝える力」の重要性を理解する			13	【授業単元】 冬休み中の過ごし方を考える 【到達目標】 学校のルールや冬休みの行動について再確認し、楽しく過ごせる計画を立てることができる 冬休み課題(志望動機の作成など)を作成することができる		
6	【授業単元】 自己評価と他者評価で自己認知を発見する 【到達目標】 自分自身の価値観や、長所・短所を把握し、前向きに自らの在り方を評価することができる My情報の収集をし、自己認知することができる			14	【授業単元】 冬休み課題の振り返り 就職活動の流れを知る① 【到達目標】 冬休みの課題を振り返り、自分の進みたい職種を理解することができる 就職活動の流れを知り、就職に向けて準備をすることができる		
7	【授業単元】 中間テスト 発見した自己認知を整理して採用試験用に精査する 【到達目標】 My情報の整理をし、文章にすることができる 中間テストを通じて、履歴書作成の基本を理解することができる			15	【授業単元】 定期試験 就職活動の流れを知る② 教務部長挨拶 【到達目標】 志望するヘアメイク業種・分野を絞ることができる 定期試験を通じて、1年間を振り返り、自身の成長を認めることができる		
8	【授業単元】 PR文章の作成方法を身に付ける 【到達目標】 自己PRの目的、「伝わる」PRを整理し、自己肯定感を高めることができる			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	業界研究 I・II	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	菊地慶 今井香菜子 宮崎登志枝 吉田映梨子 及川美波 本間静香
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	通年
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
現場のヘアメイクの方からやりがいやトレンド、仕事の内容を伺い、将来の仕事のイメージをつける							
【授業を通じての到達目標】							
自身が将来進みたい分野の仕事のイメージをつけることができる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
資料・教材は毎授業時で配布				授業によって自宅課題あり			
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】ヘアメイクの働き方(事務所)  【到達目標】 事務所で働くヘアメイクのイメージがつけられる 仕事のやりがいなど、学んだことを言語化して振り返ることができる			9	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(ブライダル) 【到達目標】 【授業単元】 ブライダルヘアメイクで働くことのイメージがつけられる 仕事の内容などを振り返り、言語化することができる		
2				10			
3	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(スチール・広告) 【到達目標】 スチールや広告等静止画で活躍するヘアメイクの仕事のイメージを つけることができる 仕事のやりがいなど、言語化して振り返ることができる			11	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(フォトスタジオ) 【到達目標】 スチール現場実習時のカメラ前アシスタントの動きや流れを理解出 来る フォトスタジオで働くヘアメイク の仕事を理解する 仕事を振り返り、言語化することができる		
4				12			
5	【授業単元】 ヘアメイクの働き方(映像系) 【到達目標】 映画・ドラマ・CMなどの映像系で活躍するヘアメイクの仕事イメージ をつけることができる 仕事内容などを言語化して振り返ることができる			13	【授業単元】 ヘアメイクの仕事(サロン) 【到達目標】 美容サロンで働くヘアメイクの仕事イメージをすることができる 仕事を振り返り、言語化することができる		
6				14			
7	【授業単元】 中間テスト ヘアメイク業種・仕事内容・分野・働き方の振り返り 【到達目標】 今まで学んだ内容を振り返り、やりがいなどをプレゼンテーションす ることができる。			15	【授業単元】 定期試験 振り返り 【到達目標】 ヘアメイクの仕事を一時的な視点で判断し、自分にあった職種をイ メージすることができる		
8				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点  ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69 点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)  ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	就職講座 I (careers seminar I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	菊地 今井 及川 本間
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	ヘアメイク科ヘアメイクコース					曜日・時間	金1限・4限

就職活動の進め方を知り、美容業界の雇用状況や求人情報を収集する仕方を学ぶことができる  
就職面接で自己をアピールできる話し方や受け答えができるようになる

【授業を通じての到達目標】

スムーズに志望する分野に就職活動ができるよう、業界を理解することができる  
自己分析することで自信を持って堂々と自己アピールをすることができ、さまざまな分野に合わせた志望動機や自己PRが話せるようになる

【使用教科書・教材・参考書】 □

資料・教材は毎授業時で配布

【授業外における学習】

授業によって自宅課題あり

回	授 業 概 要	回	授 業 概 要
1	【授業単元】 面談① 【到達目標】 クラス替え後の相互理解を深め、意見や方向性をすり合せし、コミュニケーションをとることができる	9	【授業単元】 業界研究③ (サロン) 振り返り 【到達目標】 業界研究②での情報をまとめ、 サロンでの美容師の将来像を理解することができる 美容師からヘアメイクへの流れを理解することができる
2	【授業単元】 面談② 【到達目標】 クラス替え後の相互理解を深め、意見や方向性をすり合せし、コミュニケーションをとることができる	10	【授業単元】 業界研究④ (アイリスト・ビューティアドバイザー) 【到達目標】 アイリスト・ビューティアドバイザーの求人情報の見方や福利厚生などを知り、 仕事内容や具体的な将来像を想像することができる 情報共有をディスカッションすることでより多くの情報を吸収することができる
3	【授業単元】 業界研究① (ヘアメイク・ブライダル) 【到達目標】 ヘアメイクやブライダルヘアメイクの求人情報の見方や福利厚生などを知り、 仕事内容や具体的な将来像を想像することができる 情報共有をディスカッションすることでより多くの情報を吸収することができる	11	【授業単元】 業界研究④ (アイリスト・ビューティアドバイザー) 振り返り 【到達目標】 業界研究①での情報をまとめ、 アイリストの将来像を理解することができる
4	【授業単元】 業界研究① (ヘアメイク・ブライダル) 振り返り 【到達目標】 業界研究①での情報をまとめ、 ヘアメイクやブライダルヘアメイクの将来像を理解することができる	12	【授業単元】 コンテストの準備ができる 【到達目標】 コンテストテーマや創作したい作品をイメージし、ウィッグにカラーリングをすることができる コンテスト審査員の経歴を知り、仕事内容を想像することができる
5	【授業単元】 業界研究② (セットサロン・フォトスタジオ) 【到達目標】 セットサロン・フォトスタジオの求人情報の見方や福利厚生などを知り、仕事 内容や具体的な将来像を想像することができる 情報共有をディスカッションすることでより多くの情報を吸収することができる	13	【授業単元】 面接練習① 【到達目標】 履歴書作成から自己PRや志望する想いを言葉や表情で表現することができる 面接の流れやマナーを知る事ができる
6	【授業単元】 業界研究② (セットサロン・フォトスタジオ) 振り返り 【到達目標】 業界研究②での情報をまとめ、 セットサロン・フォトスタジオでのヘアメイクの将来像を理解することができる	14	【授業単元】 面接練習② 【到達目標】 面接練習①を振り返り、履歴書作成から自己PRや志望する想いを 言葉や表情で自然に表現することができる 面接の流れやマナーを理解する事ができる
7	【授業単元】 中間テスト(20点) ヘアメイクの業種の理解 【到達目標】 ヘアメイク事務所・フリーヘアメイク・ブライダルヘアメイク・フォトスタジオ・ セットサロンのヘアメイク仕事内容を理解し、働き方の違いや 業界について理解することができる	15	【授業単元】 定期試験 (60点) 模擬面接 【到達目標】 自分の強みや志望動機をアピールできる話し方や受け答えができる ようになる 面接練習①②を元に、就職面接本番同様に模擬面接ができるようになる
8	【授業単元】 業界研究③ (サロン) 【到達目標】 サロンの求人情報の見方や福利厚生などを知り、仕事内容や具体的な将来 像を想像することができる 情報共有をディスカッションすることでより多くの情報を吸収することができる		【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点  ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69 点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)  ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。
【特記事項】			

科目名 (英)	メイク基礎演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	堤里海・岡田翔子・大瀬順子
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60時間 4単位	開講区分	前期
						曜日・時間	水曜1・2・3・4限、木曜1・2・3・4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
メイクの基本的な理論を理解し、時間内にフルメイクを完成させる技術やJESC検定メイクを修得する。 ※主たる講師:美容師、外資系化粧品ブランド販売員経験後、外資系ブランドメイクアップアーティスト、美容学校講師、MV、広告ヘアメイクに携わる(堤)							
【授業を通じての到達目標】							
JESC検定合格を目指し、メイクを行う為の衛生や基本の技術を習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
Basic Makeup、メイクボックス一式。							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 授業内容・規則・教材確認・テーブルセッティング・スキンケア手順 【到達目標】 この授業の目標と内容を理解する。 テーブルセッティング方法とスキンケアの手順を習得する。			9	【授業単元】 フルメイク35分 【到達目標】 JESC検定同様に衛生や身だしなみを整えて相モデルでフルメイクを35分で仕上げる。		
2	【授業単元】 ベース・ファンデーション・コンシーラー・フェイスパウダー実習 【到達目標】 テーブルセッティング、スキンケアの復習。相モデルでベース、ファンデーション、コンシーラー、フェイスパウダーの手順を色選びや理論を理解、技術を習得する。			10	【授業単元】 フルメイク30分 【到達目標】 JESC検定同様に衛生や身だしなみを整えて相モデルでフルメイクを30分で仕上げる。		
3	【授業単元】 リップメイク実習 【到達目標】 前回の復習。リップメイクの色選びやブラシの使い方の理論を理解、技術を習得する。			11	【授業単元】 JESC検定模擬フルメイク30分 【到達目標】 JESC検定本番と同様の規定の身だしなみ(黒服、靴、ヘアなど)でフルメイク30分を仕上げる。JESC検定の最終確認を行う。		
4	【授業単元】 アイブロウペンシル、アイブロウパウダー実習 【到達目標】 前回の復習。アイブロウペンシルとアイシャドウパレットを使用して、基本のアイブロウの書き方の理論を理解、技術を習得する。			12	【授業単元】 スチール練習 【到達目標】 スチール撮影の準備、練習を行う。		
5	【授業単元】 アイシャドウ、ペンシルアイライナー、リキッドアイライナー、マスカラの手順と色選び、骨格に合わせた基本のアイメイクの理論を理解、技術を習得する。			13	【授業単元】 定期テスト内容練習 【到達目標】 定期テスト満点を目指し、定期テストの課題メイクの練習を行う。		
6	【授業単元】 シェーディング・チーク・ハイライト実習 【到達目標】 前回の復習。シェーディング・チーク・ハイライトの入れる位置や骨格の理論を理解、技術を習得する。			14	【授業単元】 定期テスト内容練習 【到達目標】 定期テスト満点を目指し、定期テストの課題メイクの練習を行う。		
7	【授業単元】 中間テスト 【到達目標】 JESC検定に向けて、フルメイク45分。			15	【授業単元】 定期テスト 【到達目標】 指定されたメイクルックを時間内に仕上げる。		
8	【授業単元】 フルメイク40分 【到達目標】 JESC検定同様に衛生や身だしなみを整えて相モデルでフルメイクを40分で仕上げる。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	メイク基礎演習②	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	岡田翔子・大瀬順子
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60時間 4単位	開講区分	前期
						曜日・時間	木曜1・2限、金曜1・2・3・4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
メイクの基本的な理論を理解し、時間内にフルメイクを完成させる技術や骨格に合わせたメイクを修得する。 主たる講師:※外資系化粧品メーカーにて販売員を経験後、JESC検定の指導やヘアメイクに携わる(岡田)							
【授業を通じての到達目標】							
JESC検定合格を目指し、メイクを行う為の衛生や基本の技術を習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
Basic Makeup、メイクボックス式。							
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 テーブルセッティング・スキンケアの手順とセルフメイク 【到達目標】 テーブルセッティング方法とスキンケアの手順を復習。 学校教材を実際に使用してセルフメイクを行い、 製品のテクスチャーや発色を知る。			9	【授業単元】 骨格バリエーション～サロンスタイル(クール・マット)～ 【到達目標】 顔の骨格を理解する。相モデルで質感がマットになり、クールなイメージになるようにモデルの顔を分析してメイクを仕上げる。派手になりすぎないようにサロンスタイルを意識する。		
2	【授業単元】 ベース・ファンデーション・コンシーラー・フェイスパウダー実習 【到達目標】 メイク基礎演習①の復習。相モデルでベース、ファンデーション、コンシーラー、フェイスパウダーの手順をスムーズに行う。			10	【授業単元】 骨格バリエーション～サロンスタイル(エレガント・セミマット)～ 【到達目標】 キュート、クールとの違いを理解する。質感がセミマットになり、エレガントなイメージになるようにモデルの顔を分析してメイクを仕上げる。		
3	【授業単元】 リップメイク実習 【到達目標】 メイク基礎演習①の復習。リップメイクの色選びやリップラインなどを美しく仕上げる。			11	【授業単元】 スチール撮影のデザインを考える。 【到達目標】 7/22、23、24、25、26に行うスチール撮影の意味を理解し、撮影に合うデザインを考える。		
4	【授業単元】 アイブロウペンシル、アイブロウパウダー実習 【到達目標】 メイク基礎演習①の復習。アイブロウペンシルとアイシャドウパレットを使用して、左右対称になるように仕上げる。			12	【授業単元】 スチール撮影練習 【到達目標】 スチール撮影の準備、練習を行う。		
5	【授業単元】 アイシャドウ・ペンシル・リキッド・マスカラ実習 【到達目標】 メイク基礎演習①の復習。アイシャドウの位置やグラデーションを理解して、ペンシルアイライナー、リキッドアイライナー、マスカラが滲まないようにメイクを仕上げる。			13	【授業単元】 定期テスト内容練習 【到達目標】 定期テスト満点を目指し、定期テストの課題メイクの練習を行う。		
6	【授業単元】 フルメイク50分・時間配分の確認 【到達目標】 中間テストで行うフルメイク45分やJESC検定30分の時間配分を確認しながら、得意なパーツと苦手なパーツを知り、タイムを縮める。			14	【授業単元】 定期テスト内容練習 【到達目標】 定期テスト満点を目指し、定期テストの課題メイクの練習を行う。		
7	【授業単元】 中間テスト 【到達目標】 JESC検定に向けて、フルメイク45分。			15	【授業単元】 定期テスト 【到達目標】 指定されたメイクルックを時間内に仕上げる。		
8	【授業単元】 骨格バリエーション～サロンスタイル(キュート・ツヤ)～ 【到達目標】 顔の骨格を理解する。相モデルで質感がツヤになり、キュートなイメージになるようにモデルの顔を分析してメイクを仕上げる。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	ヘア基礎演習 ①	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	秋本いくみ/今井布弥/木本ルミ子 貞包亜美/中村好沙/古里裕佳
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60時間 4単位	開講区分	前期 水・木
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) プロフェッショナルの技術を身につけるための基本の技術と理論を修得し、応用力を引き上げる 働く講師より現在のトレンドを学びながら基礎の土台を固める 実際に現場で							
【授業を通じての到達目標】 ベーシックなスタイルからトレンドのスタイルまで幅広く対応できる基礎技術を身につけ、サロンスタイルに対応できる力を修得する							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習			
ヘア教材一式							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 使用する道具の名称、それぞれの目的に適した使い方を知る 【到達目標】 各道具の持ち方、使い方を修得し基礎となるパート取りを素早かつ確に行えるようになる			9	【授業単元】 コテ巻きのバリエーションを増やす(アレンジに適した巻き方) 【到達目標】 ウィッグを使用してコテ巻きのバリエーションを増やす 骨格を踏まえたシルエット理論を学ぶ		
2	【授業単元】 ウィッグを使用して基本のピンニング、オニピンの使い方を習得する 【到達目標】 前回練習した基本のピンニングを復習し、さらにオニピンの使い方も学ぶ事によってそれらを使ったトップシニヨンスタイル(お団子スタイル)を完成させる			10	【授業単元】 ウィッグを使用してストレートアイロンワークを練習する 【到達目標】 ウィッグを使用してストレートアイロンで作るCカール、内巻き、外巻きの方法を修得する		
3	【授業単元】 ウィッグを使用してピンニングのみでハーフアップを完成させる 【到達目標】 作るスタイルによって適したピンニングのバリエーションと方法を理解、修得してハーフアップを完成させる コームを用いたスライスの取り方のバリエーションを修得			11	【授業単元】 スチール撮影に向けての練習 【到達目標】 スチール撮影に向けて作品のイメージを決めて練習する		
4	【授業単元】 コテの理論、使い方を学ぶ 【到達目標】 コテ理論を学び、ウィッグを使用して使い方を実践する 角度や巻き方にバリエーションがあることを理解する			12	【授業単元】 スチール撮影に向けての練習 【到達目標】 スチール撮影に向けて作品のイメージを決めて練習する		
5	【授業単元】 人頭にコテ巻きを実践、ピンニングによるアレンジヘアを完成させる 【到達目標】 相モデルで人頭にコテ巻きを実践、今までに修得したピンニング技術を使って巻き髪を生かしたヘアアレンジを完成させる			13	【授業単元】 定期テスト練習 【到達目標】 定期試験課題の説明・練習		
6	【授業単元】 編み方のバリエーションを増やす 【到達目標】 ウィッグを使用してタイトロープ編み、フィッシュボーンの技術を修得する			14	【授業単元】 定期テスト練習 【到達目標】 定期試験課題の説明・練習		
7	【授業単元】 中間テスト 【到達目標】			15	【授業単元】 定期テスト 【到達目標】		
8	【授業単元】 根つぶしブローの方法、必要性を学ぶ/ ストレートアイロンを学ぶ 【到達目標】 ウィッグを使用してストレートアイロンの使い方を学ぶ 根つぶしブローを方法、必要性を知り、ローポニーテールをウィッグで仕上げ			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	ヘア基礎演習 ②	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	秋本いくみ/今井布弥/木本ルミ子 貞包亜美/中村好沙/古里裕佳
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60時間 4単位	開講区分	前期
						曜日・時間	木・金
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
プロフェッショナルの技術を身につけるための基本の技術と理論を修得し、応用力を引き上げる く講師より現在のトレンドを学びながら基礎の土台を固める							実際に現場で働
【授業を通じての到達目標】							
ベーシックなスタイルからトレンドのスタイルまで幅広く対応できる基礎技術を身につけ、サロンスタイルに対応できる力を修得する							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
ヘア教材一式							
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 ピンングの技術を学ぶ 【到達目標】 ウィッグを使用して基本のピンングを練習する 一束の技術を学び、平ゴムを結び方を修得する			9	【授業単元】 コテ巻きのパリエーションを人頭で実践する 【到達目標】 骨格を踏まえた理論を生かして相モデルでコテ巻きパリエーションの練習をする 巻き髪を生かしたヘアアレンジを完成させる		
2	【授業単元】 ウィッグで修得したピンングを人頭で実践する 【到達目標】 前回ウィッグで完成させたトップシニヨンスタイル(お団子スタイル)を相モデルで人頭で実践、完成させる 目的に合ったスタイリング剤の使い方を理解、修得する			10	【授業単元】 人頭でストレートアイロンワークを練習する 【到達目標】 相モデルで人頭にストレートアイロンワークを実践する		
3	【授業単元】 スタイルに適したピンング方法で作るハーフアップを人頭で実践する 【到達目標】 これまでに修得したピンング方法を用い、相モデルで人頭にハーフアップスタイルを実践、完成させる目的に合ったピンング方法、スタイリング剤を選べるようになる			11	【授業単元】 スチール撮影に向けての練習 【到達目標】 スチール撮影に向けて作品のイメージを決めて練習する		
4	【授業単元】 ウィッグを使用して巻き髪を仕上げる 【到達目標】 フォワード巻き、リバース巻きを修得する りの印象の違いなどを理解する			12	【授業単元】 スチール撮影に向けての練習 【到達目標】 スチール撮影に向けて作品のイメージを決めて練習する		
5	【授業単元】 三つ編み、編み込みの技術を学ぶ 【到達目標】 ウィッグを使用して表編み・裏編み/表編み込み・裏編みこみの技術を修得する			13	【授業単元】 定期テスト練習 【到達目標】 定期試験課題の説明・練習		
6	【授業単元】 三つ編み、編み込みを使ったヘアアレンジを仕上げる 【到達目標】 修得した三つ編み、編み込みの技術を盛り込んだヘアアレンジを完成させる			14	【授業単元】 定期テスト練習 【到達目標】 定期試験課題の説明・練習		
7	【授業単元】 中間テスト 【到達目標】			15	【授業単元】 定期テスト 【到達目標】		
8	【授業単元】 人頭でハイポニーテールを完成させる 【到達目標】 人頭にストレートアイロンを施し、ポニーテールを完成させる			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	浴衣着付け演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	中澤
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
浴衣の着付けと帯結びを理解する 山野流着装教室にて講師を10年以上経験している							
【授業を通じての到達目標】							
・浴衣の着付けと帯結びができるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授業概要			回	授業概要		
1	1~4回 【授業単元】 浴衣についての歴史や概要を理解する 【到達目標】 ・浴衣の歴史を知る ・着物の名称を覚える ・着付け前の準備を覚える ・下着の着付け・しまい方を覚える			9			
2				10			
3				11			
4				12			
5	5~8回 【授業単元】 浴衣の着付けと帯結び 【到達目標】 ・浴衣の着付けと帯結びができるようになる			13			
6	・細帯の三段返しを理解する			14			
7				15			
8							
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ネイル演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	内田 滝本
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
現場実習における施術方法を覚える							
【授業を通じての到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・用具の準備ができる</li> <li>・現場実習での施術方法を覚える</li> </ul>							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授業概要			回	授業概要		
1	1~4回 【授業単元】 用具の準備 ファイリング 現場ネイルの流れ  【到達目標】 ・用具の準備ができるようになる ・ファイリングができるようになる ・現場での施術の流れを理解する			9			
2				10			
3				11			
4				12			
5	5~8回 【授業単元】 カラーリング 現場での施術実践  【到達目標】 ・対面施術にてカラーリングができる ・施術の姿勢を保つことができる ・タイプ別塗布のポイントを理解できる			13			
6				14			
7				15			
8							
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	スチール撮影演習Ⅰ	必修選 択	必修	年次	1	担当教員	東村 忠明
学科・コース	ヘアメイク科	授業形 態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 集中
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
既にある広告やマガジンのキービジュアル、ファッションアイコンのヘアメイクからその再現方法、細かくはディテールや質感の作り方を撮影までの過程を取り入れて実習します。							
講師経歴:美容サロンや一般企業に対するヘアメイク指導や、美容部員向けのメイク研修講師等を実施。特殊メイクや、スチール撮影での講師経験もある。							
【授業を通じての到達目標】							
与えられたテーマを元に、スチール用にモデルをヘアメイクできる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ヘアメイク道具一式							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 スタジオワークデモンストレーションA 【到達目標】 撮影までの流れと工程を見て、ナチュラルからクリエイティブのバリエーションを確認。モデルのケアの仕方や立ち振る舞いを手本に、個々の現場や作品撮りに生かす。			9			
2	【授業単元】 スタジオワークデモンストレーションB 【到達目標】 撮影までの流れと工程を見て、ナチュラルからクリエイティブのバリエーションを確認。モデルのケアの仕方や立ち振る舞いを手本に、個々の現場や作品撮りに生かす。			10			
3	【授業単元】 イメージヘアメイク① A 【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪のコシや肌の質感を表現出来るようにする。			11			
4	【授業単元】 イメージヘアメイク① B 【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪のコシや肌の質感を表現出来るようにする。			12			
5	【授業単元】 イメージヘアメイク② A 【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪のコシや肌の質感を表現出来るようにする。			13			
6	【授業単元】 イメージヘアメイク② B 【到達目標】 イメージ(人物像)が伝わるヘアメイクを身に付ける。 髪のコシや肌の質感を表現出来るようにする。			14			
7	【授業単元】 中間テスト ビジュアルコピーヘアメイク AB合同 【到達目標】 コピー元ビジュアルを再現するにあたり、研究とリサーチが十分か。 モデルに似合ったビジュアルになっているかが基準。			15			
8	【授業単元】 クリエイティブヘアメイク A 【到達目標】 主にフォトコンで賞を取るような作品のディレクションやアイデアを研究する。			【評価について】 #小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 #評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) #評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	メイク技術理論	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	堤 里海
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 集中
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
BAとしてお客様に合ったご提案をする為に、現場対応が可能な技術を身に付ける。 ※外資系化粧品ブランドメイクアップアーティスト兼、MV、TV、広告等のヘアメイクに携わる。(堤 里海)							
【授業を通じての到達目標】							
現場で必要なタッチアップマナーやカウンセリング力、メイクアップ技術を身に付け、お客様一人一人に合った提案力を修得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
メイク道具一式、筆記用具、ファイル、鏡用雑巾							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 授業内容、ルール、テーブルセッティング確認、教材使用法、 【到達目標】 店頭において必要な、事前準備からタッチアップにおいての細かいマナーを理解する。メイクブランドをカテゴリー別にリサーチを行い、模写する。フェイスチャート練習。			9			
2	【授業単元】 SSトレンドメイクパターン① フェイスチャート練習 【到達目標】 今期トレンドを理解し、トレンドを落とし込んだフルメイクを40分で実施する。			10			
3	【授業単元】 SSトレンドメイクパターン② フェイスチャート練習 【到達目標】 今期トレンドを理解し、トレンドを落とし込んだフルメイクを40分で実施する。			11			
4	【授業単元】 メイクブランドリサーチを行い、課題に沿ってタイム内フルメイク完成 【到達目標】 様々なメイクブランドから各自ブランドリサーチを行い、コンセプトや製品知識を修得し、モデルさんに似合わせたブランドメイクを実施する。			12			
5	【授業単元】 ラグジュアリーブランドリサーチを行い、課題に沿ってフルメイク完成 【到達目標】 様々なラグジュアリーブランドから各自ブランドリサーチを行い、コンセプトや製品知識を修得し、モデルさんに似合わせたブランドメイクを実施する。			13			
6	【授業単元】 オーガニックブランドリサーチを行い、課題に沿ってフルメイク完成 【到達目標】 様々なオーガニックブランドから各自ブランドリサーチを行い、コンセプトや製品知識を修得し、モデルさんに似合わせたブランドメイクを実施する。			14			
7	【授業単元】トレンドメイク実施 【到達目標】 今までにリサーチしたブランドのコンセプトや製品説明を行い、夏のトレンドメイクを40分で実施する。			15			
8	【授業単元】 カウンセリングフルメイク①ニーズを引き出す 【到達目標】 カウンセリングを行いながらお客様のニーズを引き出したフルメイクを完成させる。フェイスチャートにてメイク提案を実施する。			【評価について】 #小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 #評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) #評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	総合演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井・菊地・吉田・及川・本間
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	通年
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
デッサンやトレンドヘアなど、普段の学びを総合的に捉える							
【授業を通じての到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・デッサンで静物画がかけられるようになる</li> <li>・トレンドのヘアスタイルが理解できる</li> </ul>							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授業概要			回	授業概要		
1	<b>【授業単元】</b> デッサン基礎  <b>【到達目標】</b> ・静物画を記入するための背観察力を身につける			9	<b>【授業単元】</b> トレンドヘアの歴史と現在		
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉛筆と消しゴムの使い方を理解する</li> <li>・構図の種類を理解する</li> <li>・明暗と彩度・立体構図を理解する</li> </ul>			10	<b>【到達目標】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時代ごとに変遷してきたトレンドヘアについての学びを深める</li> <li>・現代のトレンドヘアについて、雑誌等を通して学ぶ</li> <li>・トレンドヘアについて、調べ学習を行う</li> </ul>		
3				11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デッサンの学びを基に、トレンドヘアをコンセプトシートに落とす</li> <li>・トレンドヘアの1つを相モデルで実践してみる</li> </ul>		
4				12			
5	<b>【授業単元】</b> デッサン応用  <b>【到達目標】</b> ・空間の構成			13			
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠近法について</li> <li>・静物画の完成</li> </ul>			14			
7				15			
8				<b>【評価について】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			
【特記事項】							

科目名 (英)	アシスタントプログラム①	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	佐藤
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ヘアメイクのアシスタントとしての動きを実践できるようになる 講師はヘアメイクとして10年以上CMやドラマなどの現場に従事。ヘアメイク事務所の代表もしている。							
【授業を通じての到達目標】							
・ヘアメイクのアシスタントの道具や動きを理解できる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 ヘアメイク理解①  【到達目標】			9			
2	・ドラマ現場におけるスタッフとヘアメイクの関連性や内容を理解できる			10			
3	【授業単元】 ヘアメイク理解②  【到達目標】  ・CM現場におけるスタッフとヘアメイクの関連性や内容を理解できる			11			
4				12			
5	【授業単元】 アシスタント理解①  【到達目標】  ・ヘアメイク現場のアシスタントの道具を、先輩スタッフの実際の道具を通して理解する			13			
6				14			
7	【授業単元】 アシスタント理解②  【到達目標】  ・実際に3人1組となり、ヘアメイク・モデル・アシスタントの動きをシミュレーションして実施していく			15			
8							
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点  ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)  ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	アシスタントプログラム②	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	佐藤
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ヘアメイクのアシスタントとしての動きを実践できるようになる 講師はヘアメイクとして10年以上CMやドラマなどの現場に従事。ヘアメイク事務所の代表もしている。							
【授業を通じての到達目標】							
・現場実習の振り返りをして、よりよいアシスタントとしての動きを身につける							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 後期オリエンテーション  【到達目標】 後期の流れや現場実習についての実践内容を理解できる			9			
2				10			
3	【授業単元】 現場実習振り返り①  【到達目標】 ・現場実習に行った学生から振り返りを聞き、自身の現場実習に行く際のイメージをつける			11			
4				12			
5	【授業単元】 現場実習振り返り② コンテスト現場練習  【到達目標】 ・ヘアメイクコンテストのサポートとして入る際の注意事項を理解できる  ・コンテストの流れを把握し、自分でシュミレーションができる			13			
6				14			
7	【授業単元】 コンテスト実践  【到達目標】 ・ヘアメイクコンテストのアシスタントとして実践する  ・実践した内容を振り返ることができる			15			
8							
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点  ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)  ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	1年生コンテスト	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井・及川・加藤・本間・吉田・宮崎
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
1年次の学びを活かし、創造的な作品を発表する							
【授業を通じての到達目標】							
・ウィッグを対象に、コンセプトどおりの作品を表現する							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授業概要			回	授業概要		
1	1~8回 【授業単元】 コンセプト作成及び仕込み  【到達目標】 ・テーマを基に、イメージを膨らませコンセプトシートに落とし込む ・コンセプトシートを基に、必要な材料をそろえる			9	11~15回 【授業単元】 コンテスト発表  【到達目標】 ・コンセプトシートを基に、ウィッグにヘアメイクを施す ・制限時間内で仕上げ、プレゼンテーションを行う		
2				10	【評価】 審査員及び指導教員の評価により、100点満点にて評価をする		
3				11			
4				12			
5				13			
6				14			
7				15			
8				【評価について】 ●事前審査及び当日審査により評価 合計100点満点  ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	業界特別授業	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	菊地慶 今井香菜子 宮崎登志枝 吉田映梨子 及川美波 本間静香
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 1	開講区分	後期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ヘアメイクが行われる現場で、ヘアメイクの仕事の流れを体感する							
【授業を通じての到達目標】							
興味があるヘアメイクの分野について体感できる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
資料・教材は毎授業時に配布							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】ヘアメイクの現場体験  【到達目標】 ・ヘアメイクが働く現場(スチール・映像・ブライダル等)に赴き、仕事の実際の様子を見る			9			
2	・現場の中で、ヘアメイクの工夫や顧客の様子などを実際に理解し、振り返ることができる ・現場で働くヘアメイクの方から、仕事の様子を伺う			10			
3				11			
4				12			
5	【授業単元】 現場体験振り返り 【到達目標】 グループワークにおいて、それぞれの現場のヘアメイクの様子を振り返り、発表することができる			13			
6	振り返った内容を言語化し、記入することができる 記入した内容のファイリング・ポートフォリオ化			14			
7				15			
8				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	着物着付け演習(初傳)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	中澤
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
着付けと帯結びを理解する 山野流着装教室にて講師を10年以上経験している							
【授業を通じての到達目標】							
・山野流着付け初傳を取得する							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	1~4回 【授業単元】 小紋の着付けと帯結び 体型補正から振袖長襦袢の着付け 【到達目標】 ・小紋の着付けと帯結び			9			
2	準備の仕方から小紋の着付けまで 着物の本たたみ 名古屋帯のたたみ方 ・小紋の着付けと名古屋帯の一重太鼓の帯結び 帯揚げの結び方 帯締め結び方			10			
3	・ミスの第一礼装:振袖の知識を覚える ・体型補正から振袖長襦袢の着付け →展示実習2人1組 相モデル			11			
4				12			
5	5~8回 【授業単元】 振袖の着付け・黒留袖の着付け 【到達目標】 ・振袖の着付け(伊達締まで)			13			
6	・振袖の着付けと帯結び:二枚扇を仕上げる ・黒留袖の着付けと帯結び:袋帯使用の二重太鼓			14			
7	・着付け総仕上げ:お客様の着付け 黒留袖の着付けと袋帯使用の二重太鼓の帯結び ・礼装の帯あげ・帯締の整え方・全体のバランス →2人1組で実施			15			
8							
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ファッション講座	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	若井 りさ
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ヘアメイクに必要なファッションやトレンドを理解する。 ※美術学科卒業後、広告宣伝業務や撮影業務に携わる。その中でファッションやコーディネートについての業務も実施。							
【授業を通じての到達目標】							
基本知識を活用し、トレンドをとり入れたコーディネートができるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布				毎授業時に配布			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 授業概要理解 【到達目標】 ネクタイの結び方(2種)を体得する 授業概要を理解する			9			
2	【授業単元】 自分に似合う色と柄を知る①(テキスタイル表) 【到達目標】 布見本を用いて、自分に合う物を考察する。			10			
3	【授業単元】 自分に似合う色と柄を知る② 【到達目標】 布見本を用いて、自分に合う物を考察する。			11			
4	【授業単元】 帽の正しいかぶり方 【到達目標】 ・帽の種類(由来やかぶり方)			12			
5	【授業単元】 クローゼットに眠っている物を活用する方法 【到達目標】 シルエットを考察し、着方を発見する。			13			
6	【授業単元】 新しい考え方のポイントを知る。 【到達目標】 ストリートファッション ユニバーサルデザインとは？ 新素材や形の扱い方			14			
7	【授業単元】 黒い服と白い服① 【到達目標】 バランスをとる方法			15			
8	【授業単元】 定期テスト(60点満点) 【到達目標】 4種のトレンドマップを提出する。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ヘアメイク基礎演習 I (ヘア) (hair make basic)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	中村好沙・貞包亜美
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
学科・コース	ヘアメイク科ヘアメイクコース					曜日・時間	水曜 1・2時限目
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
プロフェッショナルの技術を身につける為の基礎の技術を理論を習得し、応用力を引き上げる。 実際に現場で働く講師より、現在のトレンドを学びながら基礎の土台を固める。							
【授業を通じての到達目標】							
新たに加わる教材を駆使し、クオリティーの高いスタイルをつくれるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
ヘア教材一式							
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 ホットカーラーの特性と巻き方 【到達目標】 ホットカーラーの特性を理解し、全頭巻けるようになる。			9	【授業単元】 抱き合わせのスタイルを学ぶ 【到達目標】 すき毛の使い方を習得し、抱き合わせのスタイルを完成させられるようになる。		
2	【授業単元】 スタイルづくり 【到達目標】 ホットカーラーのカールを生かしたスタイルをつくれるようになる。			10	【授業単元】 すき毛の特性をより理解する 【到達目標】 すき毛を使用し、面を生かしたスタイルを完成させられるようになる。		
3	【授業単元】 ドライヤーによるブロー 【到達目標】 ドライヤーを使用し、ドライとブローの技術を習得する。			11	【授業単元】 カールアップ① 【到達目標】 面を生かしたカールアップスタイルをつくれるようになる。		
4	【授業単元】 ホットカーラーの色々な使い方を知る 【到達目標】 ホットカーラーとブローで仕込みを完成させるようになる。			12	【授業単元】 カールアップ② 【到達目標】 カールをほぐしたカールアップスタイルをつくれるようになる。		
5	【授業単元】 逆毛の特性と種類を学ぶ 【到達目標】 逆毛の技術を習得し、スタイルに組み込めるようになる			13	【授業単元】 カールアップ③ 【到達目標】 ボリュームのあるカールアップをつくれるようになる。		
6	【授業単元】 逆毛を駆使する 【到達目標】 逆毛を立て、ボリュームのあるスタイルを完成させる			14	【授業単元】 総復習とテスト練習 【到達目標】 定期テスト練習し、今まで習得した技術を確認する。		
7	【授業単元】 中間テスト 【到達目標】 1-6回までの確認をする			15	【授業単元】 定期テスト 【到達目標】 習熟度をはかる。		
8	【授業単元】 抱き合わせのスタイルを学ぶ 【到達目標】 逆毛で抱き合わせのスタイルを完成させられるようになる			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ヘアメイク基礎演習Ⅱ (hair make basic)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	岡田翔子 大瀬順子
学科・コース	ヘアメイク科ヘアメイクコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
						曜日・時間	木曜1, 2, 限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
メイクの基礎知識や様々なジャンルの技術を知り、現場や作品作りでの応用力を身につける。図3 資系化粧品ブランドメイクアップアーティスト兼、MV、TV、広告等のヘアメイクに携わる。(堤 里海)							
【授業を通じての到達目標】							
メイクの基礎知識やジャンル別のメイク技術を身につける事により、様々な現場やコンテストへ備える。							
【使用教科書・教 材】 メイク道具一式、筆記用具、ファイル、鏡用雑巾				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 補正メイク 【到達目標】 ハイライト、シェーディング、チークの入れ方による見え方の違いや遠心的メイク、求心的メイクでのバランスの取り方を修得する			9	【授業単元】 テスト別メイク② 【到達目標】 サロンスタイル(ナチュラル系)～ショーメイク(クリエイティブ系)へ段階分けを行い、メイクチェンジの行程を修得する。		
2	【授業単元】 色彩メイク 【到達目標】 色相を学ぶ事により、補色を使った色彩バランスを修得し、各自補色を使ったメイクバランスを考え実施する。			10	【授業単元】 テスト別③ 【到達目標】 サロンスタイル(ナチュラル系)～ショーメイク(クリエイティブ系)へ段階分けを行い、メイクチェンジの行程を修得する。		
3	【授業単元】 クレンジング 【到達目標】 クレンジングについての知識(ポイントクレンジング～全体クレンジング)を修得し、カラーメイク(先週のおさらい)後、クレンジングを実施する。			11	【授業単元】 テスト別④ 【到達目標】 サロンスタイル(ナチュラル系)～ショーメイク(クリエイティブ系)へ段階分けを行い、メイクチェンジの行程を修得する。		
4	【授業単元】 スキンケア 【到達目標】 スキンケアについての知識(肌タイプ別)を修得し、カラーメイク完成後、クレンジング(先週のおさらい)を行い、スキンケアを実施する。			12	【授業単元】 テスト別⑤ 【到達目標】 サロンスタイル(ナチュラル系)～ショーメイク(クリエイティブ系)へ段階分けを行い、メイクチェンジの行程を修得する。		
5	【授業単元】 質感メイク「GLOSS」 【到達目標】 ツヤの種類(クリーム、グロス、パール、メタリック等)を知り、ツヤ感の作り込みを修得する。			13	【授業単元】 和装メイク① 【到達目標】 現代的和装メイクについての知識を学び、TPOに合わせた現代的和装メイクを修得する。		
6	【授業単元】 質感メイク「MATT」 【到達目標】 マットの種類(セミマット、ルミナス、フルマット等)を知り、マット感の作り込みを修得する。			14	【授業単元】 和装メイク② 【到達目標】 古典的和装メイクについての知識を学び、TPOに合わせた古典的和装メイクを修得する。		
7	【授業単元】 質感別フルメイク 【到達目標】 中間テスト:クレンジングを行い、色彩バランスを考えた質感別フルメイク			15	【授業単元】 テスト別フルメイク 【到達目標】 定期テスト:各自テスト別フルメイクをナチュラル系～クリエイティブ系まで段階分けを行いフルメイク完成		
8	【授業単元】 テスト別メイク① 【到達目標】 サロンスタイル(ナチュラル系)～ショーメイク(クリエイティブ系)へ段階分けを行い、メイクチェンジの行程を修得する。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	ヘアメイク基礎演習Ⅲ (ヘアメイク) (hair make basic)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	今井布弥・木本ルミ子・古里裕佳・秋本いくみ
学科・コース	ヘアメイク科ヘアメイクコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
						曜日・時間	木曜3, 4時限目
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
プロフェッショナルの技術を身につける為の基礎の技術と理論を習得し、応用力を引き上げる。実際に現場で働く講師より、現在のトレンドを学びながら基礎の土台を固める。							
【授業を通じての到達目標】							
決められた時間内にヘアメイクの道具のセッティング、様々なテイストのヘアメイクが出来るようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 レトロメイク(全体マット系) 【到達目標】 全体の質感をマットにしてレトロなメイクが出来るようになる。			9	【授業単元】 クールヘア&メイク(人頭) 【到達目標】 人頭でクールなヘア&メイクが出来るようになる。		
2	【授業単元】 人頭ホットカーラー巻き 【到達目標】 人頭にホットカーラーを巻けるようになる。			10	【授業単元】 コンセプトシートの作成 【到達目標】 コンテストのコンセプトシートが作成できるようになる。		
3	【授業単元】 レトロヘア&メイク(人頭) 【到達目標】 人頭でレトロなヘア&メイクが出来るようになる。			11	【授業単元】 コンテスト作品の試作 【到達目標】 コンセプトシートを基に試作をつくり、講師からのアドバイスを受けながら改善点を見つける。		
4	【授業単元】 フェミニンメイク 【到達目標】 モデルに似合わせたフェミニンメイクで出来るようになる。			12	【授業単元】 コンテスト作品の改善 【到達目標】 前回見つけた改善点をでクリアする具体的方法を模索し、アドバイスを受けながら発見できるようになる。		
5	【授業単元】 コテ巻きのバリエーション(人頭) 【到達目標】 コテ巻きのバリエーションを増やして、色んな巻き方が出来るようになる。			13	【授業単元】 コンテスト作品の改善 【到達目標】 コンテスト作品のカラーリングの色や使用する小物など、細部についてのプランを立てることで出来る。		
6	【授業単元】 フェミニンヘア&メイク(人頭) 【到達目標】 人頭でフェミニンなヘア&メイクが出来るようになる。			14	【授業単元】 コンテスト作品デザイン最終決定 【到達目標】 コンテスト作品のデザインを完成させる。		
7	【授業単元】 クールメイク 【到達目標】 アイラインとヌーディLPLIにフォーカスしたクールメイクが出来るようになる。			15	【授業単元】 定期テスト 【到達目標】 コンテスト作品		
8	【授業単元】 スタイリング剤の使用 前髪 【到達目標】 髪質、スタイルに合わせたスタイリング剤を使用した前髪のデザインが出来るようになる。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ヘアメイク総合技術 I (hair make synthesis technique)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	東村忠明 / 長濱智光
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	金曜1、2限 / 金曜3、4限
学科・コース	ヘアメイク科 ヘアメイクコース						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 基礎学習と並行して学ぶ応用も含め、どの様に実践現場で活用していくかを学びます。 既にある広告やマガジンのキービジュアル、ファッションアイコンのヘアメイクからその再現方法をジャンル別に実習します。							
【授業を通じての到達目標】 与えられたテーマを元に、女性像やスタイルを自ら提案、プレゼンが出来るようにする。 自己判断的にならず、ヘアメイクを通してクライアントや第三者が見ても共感を得られる様なビジュアル作りを目標とします。							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
ヘアメイク道具一式				携帯アプリ(ピンタレスト等)を利用し、ジャンル別にヘア、メイクビジュアルをまとめ、同時に様々なカルチャーや素材、質感など自分の好みを見つけフォルダリングしていく。			
回	授業概要			回	授業概要		
1	【授業単元】 デモンストレーション 【到達目標】 撮影までの流れと工程を見て、ナチュラルからクリエイティブのバリエーションを確認。モデルのケアの仕方や立ち居振る舞いを手本に、個々の現場や作品撮りに活かす。これから現場デビューに向けてディスカッション。			9	【授業単元】 シャンプーブロー&アイロンワーク 【到達目標】 サロンワークに向けてのシャンプー授業と仕上げのアイロンワークを実習する。		
2	【授業単元】 イメージメイクアップ 【到達目標】 イメージチャートを基に女性像が伝わるメイクアップを身につける。肌の質感、色の表現を広げる。			10	【授業単元】 ヘアメイク基礎 エレガント 【到達目標】 依頼の多いヘアメイクのテイストを相モデルで学習する。		
3	【授業単元】 イメージヘアースタイルング 【到達目標】 イメージチャートを基に女性像が伝わるヘアースタイルングを身につける。髪の質感、アイロンワークの幅を広げる。			11	【授業単元】 シャンプーブロー&アイロンワーク 【到達目標】 サロンワークに向けてのシャンプー授業と仕上げのアイロンワークを実習し、習熟度を確認する。 小テスト 10点		
4	【授業単元】 イメージヘアメイク 小テスト10点 【到達目標】 イメージチャートを基に女性像が伝わるヘアメイク、トータルバランスを養う。髪の毛や肌の表現を出来るようにする。			12	【授業単元】 ヘアメイク基礎 似合わせ 【到達目標】 依頼の多いヘアメイクのテイストを相モデルで学習する。		
5	【授業単元】 クリエイティブヘアー 【到達目標】 カラーエクステを使いヘアスタイルのバリエーションを研究、オリジナリティーあるヘアスタイルを作る。			13	【授業単元】 ヘアメイク基礎 似合わせ 【到達目標】 依頼の多いヘアメイクのテイストを相モデルで学習し、習熟度を確認する。 小テスト 10点		
6	【授業単元】 クリエイティブヘアメイク 小テスト10点 【到達目標】 フォトコン作品などからアイデアを研究し、独創性のあるヘアメイクにチャレンジする。			14	【授業単元】 定期テスト ヘアメイク基礎 【到達目標】 コピー元ビジュアルを再現したり、研究とリサーチが十分か。モデルに似合ったビジュアルになっているかが規準。		
7	【授業単元】 ビジュアルコピーヘアメイク 中間テスト 30点 【到達目標】 コピー元ビジュアルを再現したり、研究とリサーチが十分か。モデルに似合ったビジュアルになっているかが規準。			15	【授業単元】 1から14回までの授業を振り返る 【到達目標】 今後に向けて自分の得意、課題を発見する。		
8	【授業単元】 ヘアメイク基礎 ナチュラル 【到達目標】 依頼の多いヘアメイクのテイストを相モデルで学習する。			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	特殊メイク演習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	長濱 智光
学科・コース	ヘアメイク科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>普段、撮影や収録現場で制作会社や編集から言われるリクエストをもとに授業内容を構成し、それに沿ったヘアメイクの表現方法の幅を学ぶ。          その中でも特に特殊メイクに特化した授業を行う。          講師経歴:美容サロンで美容師として従事後、ヘアメイク事務所にてヘアメイク業務に8年以上従事。アートディレクターとしても活躍している。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
血のり等を利用し、特殊メイクを仕上げる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布				毎授業時に配布			
回	授業概要			回	授業概要		
1	<b>【授業単元】</b> 特殊メイク基礎Ⅰ <b>【到達目標】</b> ・キズ、アザの基本・色・位置等 ・古傷の作成			9			
2	<b>【授業単元】</b> 特殊メイク基礎Ⅱ <b>【到達目標】</b> ・古傷の作製 完成まで ・火傷等			10			
3	<b>【授業単元】</b> 特殊メイク基礎Ⅲ <b>【到達目標】</b> ・パター等を使用した立体的な傷			11			
4	<b>【授業単元】</b> ドラマ・映画ヘアメイクⅠ <b>【到達目標】</b> 映画やドラマなど収録現場でのヘアメイク学習の基礎を学ぶ			12			
5	<b>【授業単元】</b> ドラマ・映画ヘアメイクⅡ <b>【到達目標】</b> 映画やドラマなど収録現場でのヘアメイク学習の応用を学ぶ			13			
6	<b>【授業単元】</b> イベントヘアメイクⅠ <b>【到達目標】</b> イベントなど比較的大きなステージで行われるヘアメイクの基礎学習。			14			
7	<b>【授業単元】</b> イベントヘアメイクⅡ <b>【到達目標】</b> イベントなど比較的大きなステージで行われるヘアメイクの応用学習			15			
8	<b>【授業単元】</b> 試験 <b>【到達目標】</b> 血のり等を使用し手早くリアルなキズを作る			<b>【評価について】</b> ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	着物着付け演習(初傳・中傳)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	中澤
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期
学科・コースヘアメイク科 ブライダルヘアメイクコース						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
着付けと帯結びを理解する 山野流着装教室にて講師を10年以上経験している							
【授業を通じての到達目標】							
・山野流着付け初傳を取得する							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授業概要			回	授業概要		
1	1~4回 【授業単元】 小紋の着付けと帯結び 体型補正から振袖長襦袢の着付け 【到達目標】 ・小紋の着付けと帯結び			9	【授業単元】 お客様に対する着付け(浴衣・振袖) 【到達目標】 お客様に対し、浴衣と小紋の着付けができるようになる 二人一組で実施し、着付けを行いあう		
2	準備の仕方から小紋の着付けまで 着物の本たたみ 名古屋帯のたたみ方 ・小紋の着付けと名古屋帯の一重太鼓の帯結び 帯揚げの結び方 帯締め結び方			10			
3	・ミスの第一礼装:振袖の知識を覚える ・体型補正から振袖長襦袢の着付け →展示実習2人1組 相モデル			11			
4				12			
5	5~8回 【授業単元】 自分自身への振袖の着付け・黒留袖の着付け 【到達目標】 ・振袖の着付け(伊達締まで)			13	【授業単元】 お客様に対する着付け(黒留袖) 【到達目標】 ・黒留袖を、お客様に対し着付けができるようになる		
6	・振袖の着付けと帯結び:二枚扇を仕上げる ・黒留袖の着付けと帯結び:袋帯使用の二重太鼓			14	・着付け総仕上げ お客様に対し、振袖・黒留袖の着付けを制限時間内に完成させる		
7	・着付け総仕上げ 黒留袖の着付けと袋帯使用の二重太鼓の帯結び ・礼装の帯あげ・帯締の整え方・全体のバランス			15			
8				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
【特記事項】				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ブライダルヘアメイク基礎 (bridal hair make basic)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	大井 弓子
学科・コース	ヘアメイク科ブライダルコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	180 12	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
ブライダルヘアメイクになるための基礎技術・トータルバランス感覚・アテンド技術・自身の美しさを身につける。 (ブライダルサロン勤務経験以外にもファッションショー・雑誌の舞台など20年以上にわたり幅広く活躍)							
【授業を通じての到達目標】							
各技術を理論的に理解・修得出来る							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 ブライダル心得① 【到達目標】 ブライダルヘアメイクの仕事を理解する ブライダルアイテムに触れ、体験し、技術を身につける			9	【授業単元】 イメージ別ヘアメイク (キュート) 【到達目標】 イメージによるヘアメイクドレスの違いを理解し、技術を修得する		
2	【授業単元】 ブライダル心得② 【到達目標】 ブライダルヘアメイクの仕事を理解する ブライダルアイテムに触れ、体験し、技術を身につける			10	【授業単元】 イメージ別ヘアメイク (エレガント) 【到達目標】 イメージによるヘアメイクドレスの違いを理解し、技術を修得する		
3	【授業単元】 ホットカーラー巻き・逆毛 【到達目標】 ホットカーラーの特性を理解し、巻く技術を修得する 逆毛の特性・用途・種類を理解し、技術を修得する			11	【授業単元】 模写デッサン 【到達目標】 指定された写真をデッサン用紙へ模写する技術を修得する		
4	【授業単元】 本夜会 【到達目標】 本夜会の技術を修得する			12	【授業単元】 コンテスト作品試作 【到達目標】 コンセプトシートを基に試作を作成する		
5	【授業単元】 面アップ 【到達目標】 面アップの技術を修得する			13	【授業単元】 コンテスト作品練習 【到達目標】 コンセプトシート作品試作を基に修正・改善しより完成度を高める		
6	【授業単元】 カールアップ 【到達目標】 カールアップの種類を理解し、技術を修得する			14	【授業単元】 コンテスト作品練習 【到達目標】 コンテスト作品のトータルバランス・時間も考慮し作成する		
7	【授業単元】 中間テスト 【到達目標】 指定されたアップスタイルを時間内に作成する			15	【授業単元】 定期テスト 【到達目標】 コンテスト作品を規定時間内に作成する		
8	【授業単元】 ゆるふわダウンスタイル・アップスタイル 【到達目標】 カールアイロンの技術を修得し、ゆるふわスタイルを創造する			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	ブライダル総合演習 (bridal overall semimer)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	木本 ルミ子
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
学科・コース	ヘアメイク科ブライダルコース						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
実際に現場で働く講師より現在のトレンドをレクチャーしながら前半はメイクの基礎技術を繰り返し練習し習得する 後半はヘア、ドレス、小物とのコーディネートを実際にいろいろ合わせてイメージをする							
【授業を通じての到達目標】							
基礎技術を深めブライダルスタイルをスタイリング出来るようになる また、ドレス、小物を合わせてータルコーディネートできるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
。							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 ベース補整メイク① 【到達目標】 骨格に合わせて立体感の出方を把握し、自分が表現したい立体感を自在に表現出来るようになる。			9	【授業単元】 遠心的メイク 【到達目標】 補整メイクのパターン「遠心的メイク」のポイントを学び、実践する		
2	【授業単元】 ベース補整メイク② 【到達目標】 骨格に合わせて立体感の出方を把握し、自分が表現したい立体感を自在に表現出来るようになる			10	【授業単元】 ブライズイメージ別メイク 【到達目標】 今までの技術を応用し、モデルに合ったイメージでブライズメイクを完成させることが出来る		
3	【授業単元】 アイブロウ、リップのデザイン描き分け 【到達目標】 代表的な型のアイブロウとリップの描き方の基本テクニックをパリエーションを学び実践する			11	【授業単元】 コンセプトシート作成 【到達目標】 コンセプトシートの作り方、デッサンを学びコンテストに向けて作品を考えコンセプトシートに描きおこすことが出来る		
4	【授業単元】 色相環とカラーコーディネート 【到達目標】 色の組み合わせによってさまざまなイメージを表現できることを知り、イメージ別の配色でメイクをコーディネート出来るようになる			12	【授業単元】 コンテスト練習 【到達目標】 コンセプトに基づきコンテスト作品を試作する		
5	【授業単元】 質感ツヤ系メイク 【到達目標】 質感によるイメージの違いを理解し、女性らしいツヤ系キュートメイクを修得する			13	【授業単元】 コンテスト練習 【到達目標】 コンテストに向けてデザインを固めて作成し、改善点を探り、完成形に近づけることが出来る		
6	【授業単元】 質感マット系メイク 【到達目標】 質感によるイメージの違いを理解し、女性らしいツヤ系キュートメイクを修得する			14	【授業単元】 コンテスト練習 【到達目標】 コンテストに向けてデザインを固めて作成し、改善点を探り、完成形に近づけることが出来る		
7	【授業単元】 中間テスト 【到達目標】 色形質感を意識したイメージ別メイクを規定時間内に完成させることが出来る			15	【授業単元】 定期テスト 【到達目標】 課題のスタイルを規定時間内に完成させることが出来る (コンテスト作品)		
8	【授業単元】 求心メイク 【到達目標】 補整メイクのパターン「求心的メイク」のポイントを学び実践する			【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【特記事項】							

科目名 (英)	成人式実習	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	宮崎・吉田
学科・コース	ヘアメイク科ブライダルコース	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
着付けの学びを基に、成人式での振袖の着付けを行う							
【授業を通じての到達目標】							
・振袖着付けを制限時間内に仕上げることができる							
【使用教科書・教材・参考書】 □				【授業外における学習】			
毎授業時に配布							
回	授業概要			回	授業概要		
1	1~4回 【授業単元】 振袖着付け練習 【到達目標】 ・着付け初傳で学んだ振袖着付けに関して、制限時間内に実施できるように練習を行う			9			
2				10			
3				11			
4				12			
5	5~8回 【授業単元】 成人式当日 【到達目標】 企業と連携し、振袖着付けを制限時間内に仕上げることができる			13			
6	顧客のニーズに沿ったヘアアレンジができるようになる			14			
7				15			
8							
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			